

病虫害講座

ブルーベリーの病虫害



木村 裕

果樹というより、樹木といった方がよいような感じのする果樹ですが、葉をかじる害虫がいろいろいます。

【クロケシツブチョッキリ】

春、新芽が開き若い枝が伸び始めたときに発生する害虫です。新しい茎の先が突然しおれて垂れ下がります。被害は日に日に広がり、あっという間に園全体の新梢が被害を受けることがあります。

犯人は頭の先がとがった黒っぽい小さな甲虫で、柔らかい新梢の基部に頭を突っ込んで齧るため、その部分から先が枯れます。

虫は被害部にペタッとへばりつき、かつ体が小さいので見つけることは困難です。被害を受けた新梢の下に白い厚紙を受け、新梢をゆするとコロッと落ちてきます。

サルスベリやバラ、ウバメガシなどでもよく発生します。



【ハマキムシ類】

数枚の葉を糸で綴り合わせて住処をつくり、その中に潜んで葉を齧ります。淡緑色のアオム

シで、人見知りが激しくて住処の葉を開くとすばやく跳び下がって逃げだします。

チャハマキ、コカクモンハマキ、シャシャンボツバメスガなど数種類の虫が確認されていますが、被害症状はほぼ同じです。

被害に気付いたら、葉を開いて虫を捕まえるか、被害部全体を葉の上から指で押しつぶすかしてください。



【マイマイガ】

黒っぽい毛虫ですが、よく見ると背中には大小黄白色の斑紋のように見える毛束があります。周りの葉に手当たりしだいかぶりついて孔をあけ、サクラなどでは長い糸を出してぶら下がり、道行く人を「バア！」と驚かせるひょうきんな奴もいます。それゆえ、ブランコケムシとも言われています。

成長すると、私たちの人差し指くらいの大きさになり、体色は暗褐色ですが、青、橙、黄色などの毛束で装った美人になります。

皮膚の弱い人はかぶれやすいので、見つけ次第捕殺しましょう。手で触っても何ともない皮膚の丈夫な人がいますが、皆さんは触らない方が安全でしょう。

